

退任あいさつ

(前)小野町教育長 吉田 勝人



この度、9月30日付けをもちまして、教育長を退任いたしました。平成13年7月1日から8年3か月に亘り、教育関係者の皆様をはじめ多くの町民の皆様のご指導ご協力をいただき職務を私なりに全うすることができました。感謝の気持ちで一杯です。

在任中を顧みますと、町の将来を担う子どもたちに夢を実現させる学校教育の充実、就学前教育の重要性を踏まえた幼児教育・保育の一元化への取り組みと子育て支援、国際理解・交流の推進、心ふれあう生涯学習の充実と生涯スポーツ社会の実現等、多くの教育分野の課題解決と推進に關わらせていただきました。

また、少子化社会の急激な進行が教育に及ぼす影響を踏まえ、教育環境整備の基本方針を策定し、小学校の再編・統合、給食センター機能を備えた小野中学校の全面改

築など、町にとりましても大変重要な教育の具現化に向けて教育長としての重責を担うことができ、心に残る貴重な経験をさせていただきました。

学校教育は、60年ぶりの教育基本法の改正に伴い、学習指導要領も改定されるなど、新たに教育再生が求められております。

新学習指導要領は、小学校が平成23年度、中学校では平成24年度に完全実施されます。改定により、授業時数と指導内容が増えることとなりますが、すでに完全実施に備え、小学校5・6年生への週1時間の外国語活動の導入、教材・備品等の整備を行うなど、教育現場のご協力を得て移行措置を講ずることができました。

新時代を生きる子どもたちの教育環境は、大きな変革期にあります。「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和を重視した「生きる力」を育むことがますます重要になってきました。

大切なことは、学校、家庭、地域がそれぞれの役割と責任を自覚し、お互い協力し合って、確かな学力を身につけさせるなど、生きる力を育ませ、子どもたち一人ひとりにその子に合った教育を行い、子どもたちの夢を実現させるより良い教育環境づくりに努めることでもあります。

どうか、教育関係者の皆様、町民の皆様方には、子どもたちの未来を確かなものとする教育の着実な前進を目指していただきたいと存じます。

結びに、皆様のなほ一層のご多幸をお祈りし、退任のご挨拶といたします。ありがとうございました。

もしもに備え… 小野町総合防災訓練を実施

小野町総合防災訓練を9月13日、鶴庭工業用地周辺と関東エラストマー株式会社を会場に実施しました。

「同地区内でマグニチュード7.5の地震が発生し、さらに台風接近に伴う大雨で町内でも土砂崩れ、建物火災など多くの災害が発生した」ことを想定し、地域防災計画に基づき訓練を行いました。

消防団が主体となり、小野赤沼、菖蒲谷、雁股田、皮籠石、小野山の各行政区自主防災会が連携し、バケツリレーや消火器を使った初期消火訓練、陸上自衛隊と自主防災会による炊き出し訓練などを行いました。

また、県警本部トライアルバイク隊による被害情報調査や消防団による遠距離中継送水訓練、防災ヘリコプターによる上空からの散水、関東エラストマー株式会社防災会による避難誘導および消火訓練など、関係機関と住民が一体となった訓練となり、参加者は本番さながらに真剣に取り組んでいました。



山林消火活動訓練



田村消防署救助隊による負傷者救出訓練